

福祉の ひろば

2007.2

No.21

魅力ある職場と人財づくり	2
発進！県社協	4
こんな取り組みをしています！ ・NPO法人レスパイトハウスWA	5
・上十川保育園	5
おらほの社協 ・七戸町社協	6
福祉ってどうか	7
経営相談Q&A	7
県社協から	8

特集

魅力ある職場と人財づくり



仲良〜寒大根の収穫をする上十川保育園の園児
(関連記事「こんな取り組みをしています」参照)

特集 魅力ある職場と人材づくり

福祉職場における福祉人材確保を考える

福祉サービスの質は、それを提供する人材の質とされています。サービスの質の向上が事業者の責務となった今日、よりよい人材を確保するために、新たな時代における福祉経営の確立に向けて、経営者や職員が人材確保を真摯に考えることが急務の課題となっています。

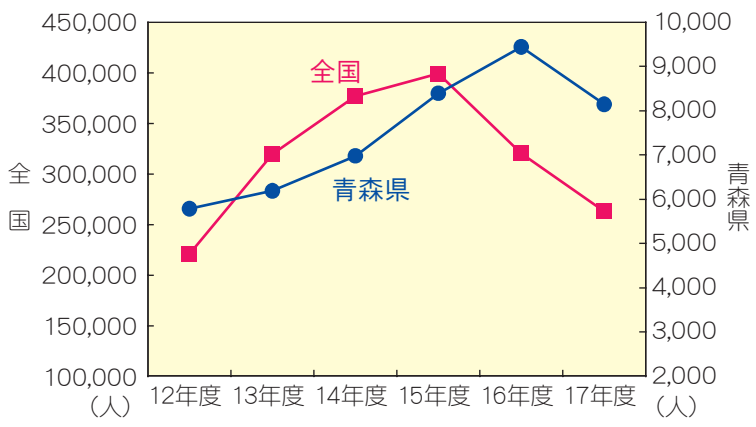
最近の労働市場の現状においては、団塊の世代の高齢化とあいまって、今後も、サービス需要は拡大するものと予測されています。

このような状況下において、全国および本県における求人・求職者の実態から「福祉職場における人材確保」について考えてみました。

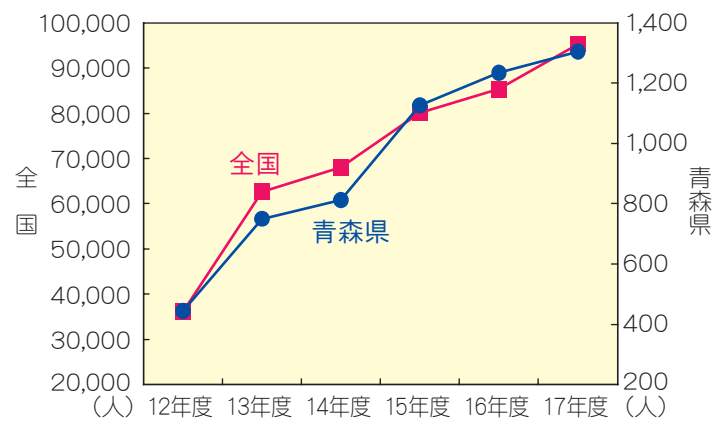
求職登録者の激減

全国社会福祉協議会・中央福祉人材センターがまとめた平成17年度までの「新規求職者数」と「新規求人数」の年次推移からみると、新規求職者数は、平成15年度のピーク時を境に減少傾向にあり、年々5万人〜8万人の幅で減少しております。平成17年度の新規求職者数においては、5年前の人数値まで下がり、福祉職場に就職したい願う人材は、激減現象にあるといえます。(図1)

新規求職者数の推移<図1>



新規求人数の推移<図2>



求める職員像

人材センター・バンクへ平成17年度求人登録された1305件の求人状況から

登録者が求人条件や職場環境を吟味し選ぶ時代へと変わってきたのが伺えます。本県の場合も、全国との多少のずれはあるものの求職者数、求人数とも同じ傾向線を描き推移しています。

みると募集の多い年齢は、30歳代、20歳代、40歳代、50歳代の順であり、人材センター・バンクの登録者においては、ちょうど子育て中の年齢層に集中しています。

分野別／資格別の多い順では、老人福祉・介護保険分野で（ホームヘルパー2級以上、介護福祉士、看護師、介護支援専門員）

児童福祉分野では（保育士、児童指導員、看護師）知的障害分野では（保育士、社会福祉主事）・身体障害者分野では（ホームヘルパー、介護福祉士、看護師）での募集がありました。

勤務形態では、常勤（正規）395名、37% 1年契約雇用の契約職員（臨時・パート含む）が678名と全体の63%を占めています。

賃金別では、諸手当を含んだ13万〜15



直接面接会「福祉職場相談フェア」を開催

あなたが福祉人材センターに求職登録し求職活動をする理由はなんですか？（表1）

選 択 肢	%	0	20	40	60	80
現在の職場よりも、もっと条件のよい求人があったら転職したい	17.7	68				
自己のステップアップ・スキルアップのため転職希望する	12.7	49				
現在の職場での待遇（給与）に不満があり転職を希望する	12.5	48				
現在は正規職員ではないので、正規職員として再就職を希望のため	12.2	47				
現在、転職の予定はないが、今後のため求人情報が欲しい	11.9	46				
雇用期間満了後、福祉の職場をさがすため	11.4	44				
現在の職場での仕事内容に不満があり転職を希望する	9.1	35				
現在の職場での人間関係に不満があり転職を希望する	8.6	33				
家庭事情や健康面などの理由から転職を希望する	3.1	12				
その他	0.8	3				
合 計	100.0					

万円、時間単価は750円〜800円の提示額が多い一方、求職者は手取り額で13万〜15万円を、時間単価では800円〜900円を望んでおり、若干の相違がみられます。また、即戦力的な経験者を希望する求人が多く、採用においても経験者を優遇している傾向がみられます。

魅力ある職場

平成17年度に実施した求職登録者の意識調査では、登録の理由として「現在の職場よりも、もっと条件のよい求人があったら転職したい」（表1）という希望が最も多く、転職希望の時期も未定であるとの回答者が多いことから、現状をキープしながら条件のよい求人を探していることが伺えます。また、この調査で述べられていた次のような職場での不満が、解消・改善されれば、長く働きたいということもわかりました。

○賃金等への不満

- ・ 仕事と賃金のバランスが悪い
- ・ 臨時職員やパートでも通勤・時間外手当を出して欲しい。

○職場環境への不満

- ・ 人間関係が悪い
- ・ 何年経っても臨時職員で将来の不安がある。

- ・ スキルアップできるよう育成してほしい。
- ・ 子育て中でも働ける職場環境をつ

- くって欲しい。

賃金等への不満の改善は、収入源に限りがあり、すぐに給与制度全体の改善は、

困難ではありますが、職場環境への不満は、経営者の意識改革や職場風土の改善によつて、問題解消できることです。

せっかく職場で養い、培った知識、技術を他の職場へ流出させることなく、定着させるために、職場での人材育成体制、労働環境の改善、職員のモチベーションを高めるべく、頑張りが評価される環境を高め、経営者のリーダーシップのもと、悪しき職場風土を変え、組織全体で「魅力ある職場」をいかにつくりあげていくかが人材確保の鍵となります。

決め手は「人材」

福祉サービスは、その担い手である一人ひとりの職員の資質能力の向上が、そのままサービスに結びつきます。

経営管理者は、給与制度やシステム等のハードの改革に留まらず、ソフトの改革として、「人材育成」をとるようにとらえ、取り組んでいくのが大切になります。

従来、職場における人材育成は、外部研修を中心に行っていた傾向にありましたが、現在では、下記の3つの要素を効果的に組み合わせ職場固有の研修ニーズに立脚しながら主導的、一体的に推進していく必要があります。

「魅力ある職場と人材づくり」は、経営者や従事者双方が、自らの施設・事業所の目標・理念を共有化し、求められる職員像や研修のあり方をとらえ直し、指導的職員の養成や職員個別の育成計画を立て、組織全体で取り組むことが重要となります。

支援する人材センター

青森県社会福祉協議会に設置されている青森県福祉人材センターでは、「福祉人材無料職業紹介」「福祉マンパワーの養成」「福祉人材確保」の三本柱の事業を展開しています。職場環境整備（ハード改革）のための経営者支援セミナー、組織の人材育成体制整備（ソフト改革）のための職場研修担当者養成研修会等を開催するとともに、職員のキャリアアップを目的とした介護福祉士、介護支援専門員受験対策講座等を実施しています。

今後も、福祉職場の経営者（求人側）への組織力向上に向けた支援を行っていききたいと考えていきます。

人材育成の3つの手法

- ☆ **OJT** (On the Job Training)
職場の先輩や上司が日常的業務を通じて、新人や後輩を指導育成する研修
- ☆ **OFF-JT** (Off the Job Training)
職場内での集合研修や外部機関の実施する研修等、日常業務を離れて行う研修
- ☆ **SDS** (Self Development System)
職員の自主的な自己啓発活動に、職場が経済的・時間的な援助等を行う自己啓発援助制度

発進!

県社協

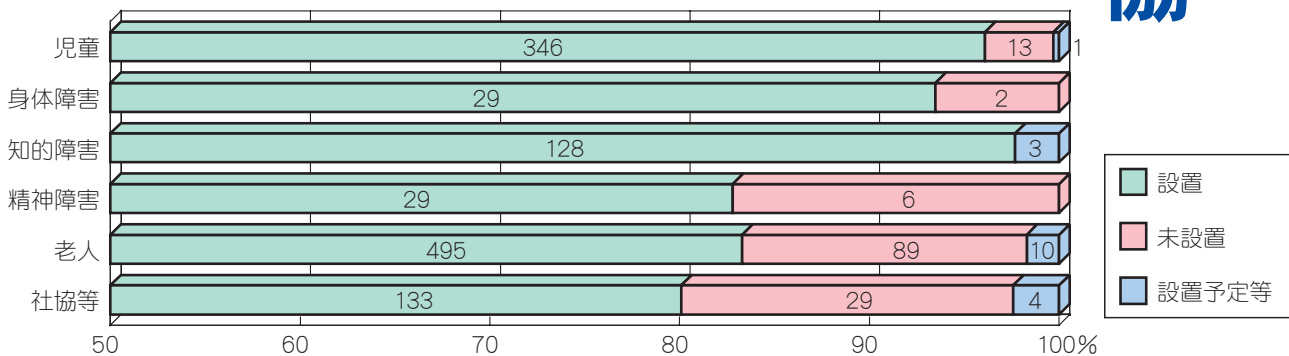
苦情解決の体制整備状況について

青森県運営適正化委員会では、県内の社会福祉法人等（482カ所）を対象に苦情解決体制の整備状況を把握するためのアンケート調査（平成18年10月1日現在）を実施しました。

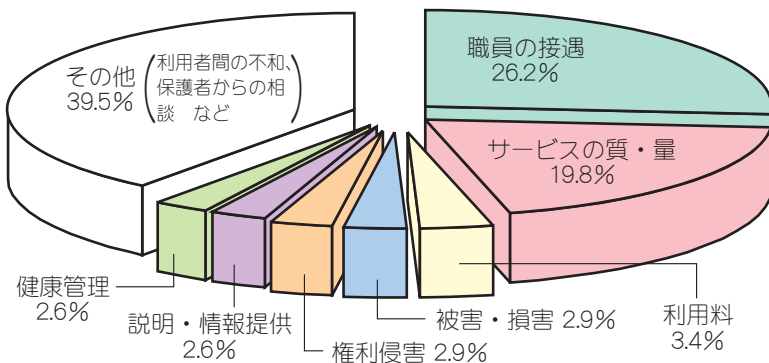
その結果、法人における苦情解決責任者及び苦情受付担当者の設置状況については、「全ての事業所に設置している」が91%と前年度から4・6ポイント増加し、第三者委員の設置状況については、「未設置の事業所」が7・3%と前年度から6ポイント減少し年々第三者委員の設置が進んでいます。

事業所の種別ごとにとみると児童、身体障害、知的障害福祉関係の設置率は90%を超えており高い設置率となっています。今後は精神障害、老人福祉関係等を中心に第三者委員が未設置の法人に対して設置を働きかけていきたいと考えています。

■事業所における種別ごとの第三者委員設置状況■



■苦情・要望の内容について■



苦情・要望については、今回のアンケート調査で回答のあった事業所（1317カ所）において1227件の苦情・要望があり、内容別にみると「職員の接遇」が26・2%、次いで「サービスの質や量」が19・8%となっています。事業所において利用者又はその家族の声を吸い上げる環境・体制の整備に積極的に取り組む、様々な苦情・要望に対応することで職員の資質をはじめ、サービスを含めた事業所の全体的な質が向上していくと考えられます。

求人・求職登録などの新システムのお知らせ

平成18年12月からインターネットでの求職登録、求人情報公開の紹介システムが変わりました。新たに、求人登録も可能となり、ネット上で入力して公開できるシステムがスタートしています。

ネットからの求職者は「応募用紙」を印刷して、直接公開されている求人に応募できます。

紹介状が必要な場合は、福祉人材センター・バンクにご相談ください。

相談・問合せ

県福祉人材センター 017-777-0012
弘前人材バンク 0172-36-1830
八戸人材バンク 0178-47-2940

求職者の方は・・・求職トップページのご利用を!

www1.fukushi-work.jp/

- ID登録・求職登録が不要!
- 応募用紙による応募式!
- 施設・事業所の情報を取得!

※非公開求人については、福祉人材センター・バンクにご相談ください。

求人事業所の方は・・・求人トップページのご利用を!

www1.fukushi-work.jp/kyujin

- ネット経由で求人登録が申請できる!(アクセス・応募件数が表示されます。)
- 積極的な施設PRができます!

紹介グループ

紹介

NPO法人レスパイトハウスWA

青森市

必要な時に適切な支援を

「ほっとする」「休息」などを意味するrespite。「輪」や「和」などを連想させる「WA」。青森市内で初めて児童デイサービスを立ち上げたレスパイトハウスWAは、一戸建て住宅を用い、自閉症など障がいのある小学生10人程を受け入れています。遊びを通して「集団」を学び、日常生活の基本的動作の訓練をします。例えばおやつを食べる時、テーブルを拭く↓皿を出す↓盛りつける↓いただきますを言う↓食べる↓片づける等、一つ一つの動きに係を決め生活動作を身につけていきます。最初は手づかみだった子どもも、スプーンを経て、箸を持って食べた



遊び感覚で箸の練習をしているところ

食べるNPOに

一方で、経営面の苦労もにじませます。立ち上げ当初は、係る費用のほとんどを職員が持ち出していたほどです。だからと言って、サービスの質を低下させるわけにはもちろんいかず、今もパートや送迎の運転手さんら、6人の職員で子ども達を支援し見守っています。

「食べるNPO！」これからの課題について、山口会長はきっぱりとこう言います。よりよい療育環境作りのためにも、これからの目標はこの一語に尽きるようです。

住所 〒030-0822
青森市中央4-7-8
連絡先 017-723-1565
職員数 6人
平成15年6月23日設立

こんな取り組みをしています!

施設紹介

黒石市

上十川保育園

〒036-0323 黒石市大字上十川字大野一番8-5
TEL 0172-52-4320



遊びが中心

園内には遊んでいる子供たちの元気な声が飛び交っています。「何も特別なことはしていないんです。遊んでいるときの子供たちの素直な笑顔は、本当にいいものです」と園長は笑顔で話します。上十川保育園は遊びを通じて、集団生活に慣れ、基本的な生活習慣を身につける取り組みをしています。

民間委譲の流れ

行政改革の流れの中で、平成16年2月に市立第六保育園が民間委譲され、上十川保育園は発足しました。慣れない手続きや新しいスタッフでの取組み等、その当時の苦労はたくさんありました。混乱を避けるために、新しい保育所のことを何度も丁寧に説明したり、服や持ち物などを新たに用意しなくても良いなどきめ細やかな配慮により、地域からの信頼を得てきました。

育児の駆け込み寺

併設されている地域福祉子育て支援センター「かでで」の機能を活かし、祖父母や保育園を利用していない保護者の相談も受け、地域にひらかれた保育園を目指しています。

悩みを抱えた母親が子供と一緒に相談に来ることもありません。母親の話をよく聞き、思いを受けとめ、「ここでよければいつでも遊びにきて」と気軽に声をかけるなど、支えになっています。

育児休暇中の母子や近所のおばあちゃんが遊びに来るなど、上十川保育園は、さまざまな地域に暮らす人々の要望に応え、子供たちや保護者から頼られる、育児の駆け込み寺となっています。



おばあちゃん絵本読んで〜でもカメラ目線

おらほの社協

七戸町 ー経営の視点ー



〒039-2505
 上北郡七戸町字立野頭139-1 ゆうずらんど内
 TEL 0176-62-6790

七戸町社会福祉協議会は、平成17年4月、県内社協合併第1号として、旧七戸町社会福祉協議会と旧天間林村社会福祉協議会が合併して新たに誕生しました。合併では、旧町村社協を支所等として残さず、職員全員がひとつになって新たなスタートを切りました。

総合福祉センター「ゆうずらんど」内の社協事務所は、地域福祉課と介護保険課が同居し、両者の連携を意図したものと なっています。

この両課を統括する天間次長は「行政が考える合併のメリットはスリム化であり、社協



福祉体験！段差でもうまく移動できるかな

に対しては補助金、委託金の削減です。また、介護報酬の改定による減収も見込まれます。一方で定年延長などの新たな法制度等にも対応しなければならず、人件費の確保では、介護保険事業で積み立ててきた剰余金の充当も考えなければなりません」と合併後の社協運営の難しさを語ります。

■合併したメリットを住民に示すこと

「合併前の社協会費は五百円と千円でしたが、合併に伴って千円に統一したこともあり、



愛ふるフェスタ2006であでやかに踊る
 アニマシオン七戸の皆さん

そのメリットを住民に示すことも大切と考えています」と町屋総務課長は話します。

その取り組みのひとつとして、一人暮らしの高齢者等の見守りや子どもたちとの交流を行ったり、除雪に協力する等の町内会には助成金として会費の還元を行っています。

住民に見えやすい事業では、子どもたちのボランティア推進の一環として福祉の現場体験やフェスティバル等を毎年開催しています。

事業の実施にあたっては、町内間や職員の対応に差が生じないよう、個別の事業ごとに実施要綱や手順書等を定め均質なサービス提供に努めています。

職員と住民がイタミを分かち合いながら、合併の効果を実感するために努力している社協です。

福祉サービス情報ネット

県社協では、福祉サービスの評価や介護サービス情報の公表制度に関する専用のホームページを開設しました。

<http://www.aohyouka.jp>

- 県内の福祉サービス第三者評価関係の情報をご覧いただけます。
- 県内のグループホームの外部評価関係の情報をご覧いただけます。
- 県内の介護サービス情報の公表制度に係る情報をご覧いただけます。

<http://www.aokaigojyouho.jp/kaigosip/Top.do>

利用者と事業者の方々、いずれの皆様にとっても有用な情報を満載していますので、ぜひご活用ください。

福祉

つてららか、

県内にお住まいの
外国人にお伺いしました
あなたの幸せ何ですか



マラン・ヨーエンセンさん
(自治国フェロー諸島出身)

昨年3月に、平和貢献のための留学を斡旋する会社を通じて、青森市へ来て、明の星高校に通っています。日本は、イギリスの北に位置するフェロー諸島からとても遠く、家族や友人との間でも話題に上がるのが少ない国でした。学校では友達もたくさんできま

したが、みんな勉強やクラブ活動に忙しく、一緒に過ごす時間は足りないです。フェロー諸島の学生は、リラクセスした雰囲気の中でそれぞれ自分がやりたいことを探し、実行しています。日本の学校は勉強もクラブも「やらせている」印象があり、自発的にできる環境づくりをしてもいいと感じています。授業では、習字がとても楽しいです。難しいですが、集中力も養われるし、素晴らしい文化だと思います。茶道や琴もやってみたくて、膝を折るのがとても痛くて辛いのが悩みです。外国の人にとって、正座は慣れるまでがすごく大変です。日本で旅行した場所では、沖繩が印象深いです。とてもきれいで、会



面積は1,399km²、人口は48,219人。首都はトースハウン。

う人もみんな優しく、ゆつくりとした時間が流れているのに、昔は戦地になった歴史があり、本当に驚かされました。どうしても目の前にある美しさと、戦争のイメージを重ねることができませんでした。両親に伝えたい、一番の思い出です。日本にも慣れてきましたが、2月には故郷に帰ってしまいました。故郷へ帰ったら、留学での貴重な経験をみんなに伝えたいです。

経営相談Q&A 最近の相談事例から

水道加入金等の会計処理は？

Q 施設開所のあたり、水道を引いたが、その後市役所から「水道加入金」「設計審査手数料」「工事完成手数料」という金額が請求され、市に納付した。この支出はどんな処理になるか。

A 「水道加入金」「設計審査手数料」「工事完成手数料」のすべてを含めた金額が「水道施設利用権」という無形固定資産となり、償却資産扱いになります。「会計基準」では、「水道施設利用権」を小区分として設定し、中区分の「権利」の中に入れて使ってください。したがって、支払資金では、小区分での「水道施設利用権取得支出」ということになります。

なお、減価償却はゼロまでで、法定耐用年数は15年です。

経営相談員 山口
TEL 017-777-1294



福祉サービス第三者評価機関を募集!

今年度新たに、福祉サービス第三者評価事業における評価活動を行うための「評価機関」を募集しています。



募集期間：平成19年1月15日から2月14日
認証期間：平成19年4月1日から1年間

青森県福祉サービス第三者評価推進委員会事務局

◆お問合せ・申込みは...

TEL 017-732-1570 FAX 017-732-1571
URL <http://www.aohyouka.jp/>

青森県運営適正化委員会の新しい委員が決まりました。

社会福祉法第83条に基づいて都道府県社会福祉協議会に設置される運営適正化委員会の新しい委員が選任されました。

運営適正化委員会 委員長 沼田 徹 副委員長 松橋 佳子
運営監視部会 部会長 平野 喬 副部会長 大野 拓哉
苦情解決部会 部会長 青山 猛光 副部会長 泉 山 寛

(任期：平成18年10月16日～平成20年10月15日)

分	野	氏	名	役	職	部	会
社会福祉に 関し 学識経験を有する者	公益を代表する者	青山	猛光 (再任)	青森県国民健康保険団体連合会	常務理事	苦情解決	
		泉	賢寛 (再任)	東奥日報社論説委員会	副委員長	苦情解決	
		風	晴賢 (新任)	青森県介護福祉士会	会長	運営監視	
		藤	林正雄 (再任)	青森県精神保健福祉士協会	理事	運営監視	
福祉サービス利用援助事業の対象者を支援する団体を代表する者	福祉サービスの提供者を代表する者	二階堂	正美 (再任)	青森県手をつなぐ育成会	会長	運営監視	
		盛田	益三 (再任)	青森県老人福祉協会	会長	運営監視	
法律に関し学識経験を有する者である委員		大野	拓哉 (再任)	弘前学院大学社会福祉学部	教授	運営監視	
		沼田	徹 (再任)		弁護士	運営監視、苦情解決	
医療に関し学識経験を有する者である委員		木村	隆次 (再任)	青森県薬剤師会	副会長	苦情解決	
		平野	喬 (再任)	青森県精神医学研究所	付属浅虫温泉病院院長	運営監視	

県社協から

行事のお知らせ

福祉の仕事・相談フェア

福祉の職場へ就職を希望する方に、福祉施設等の人事担当者との個別面談の場を提供するとともに、仕事の内容や必要な資格、就職相談を行います。

日時 平成19年2月10日(土)
受付 12:30から
開催 13:00から16:00
会場 県民福祉プラザ4F
参加費 無料
問合せ 県福祉人材センター
TEL 017-777-0012

福祉サービス 要望・苦情 1日移動相談

平成19年2月10日(土)
・十和田市総合福祉センター
TEL 0176-23-2992

・むつ市中央公民館
TEL 0175-23-5093
平成19年2月17日(土)
・弘前市社会福祉センター
TEL 0172-33-1161
・平川市健康センター
TEL 0172-44-5937

平成19年2月24日(土)
・黒石市社会福祉センター
TEL 0172-52-2674
・五所川原市社会福祉協議会
TEL 0173-34-3494

平成19年2月25日(日)
・つがる市木造地域福祉センター
TEL 0173-42-4886

相談は事前予約が必要です。各会場にお電話ください。当日の受付は致しませんので、ご了承ください。

問合せ 青森県運営適正化委員会
(福祉サービス相談センター)
TEL 017-731-3039

苦情解決関係者・ 第三者委員研修会

第三者委員が担う役割の理解を深めるとともに、その活用についても事例を通じて学び、福祉サービス提供事業者における福祉サービス全般の向上に資することを目的として開催します。

弘前会場
期日 平成19年2月27日(火)

会場 ジョッパル4F
十和田会場
期日 平成19年3月6日(火)
会場 十和田市中央公民館
(以下両会場共通)
時間 13:00から16:00
対象 苦情解決関係者、第三者委員等
参加費 1,000円
内容 事務説明
講演 「第三者委員に対する期待」
講師 青森県立保健大学
社会福祉学科
助教授 杉山克己氏
活動発表 「苦情解決の現状と課題について」
問合せ 青森県運営適正化委員会
(福祉サービス相談センター)
TEL 017-731-3039

社会福祉法人 経営支援セミナー

経営能力向上のための考え方・手法・ツールについて学ぶとともに、経営問題を掘り下げ、法人の機能強化につなげるべく認識を深めることを目的に開催します。

日時 平成19年3月14日(水)
10:00~16:30
会場 県民福祉プラザ4F 大研修室
対象 福祉法人経営者、施設長、管理者等
市町村社協役員
内容 講義 「法人経営の体質改善と管理者の役割」など
講師 エイデル研究所 福祉経営研修センター
主幹 清水皓毅氏
参加費 3,650円
テキスト代 1,260円
問合せ 県福祉人材センター
TEL 017-777-0012

広告募集

広報誌「福祉のひろば」に掲載する広告を募集しております。掲載希望の方は、下記へお問合せください。

経営部 指導担当
TEL 017-723-1391

寄付・預託の御礼

御協力ありがとうございました
(10~12月分/敬称略)

■青森県社会福祉協議会への寄付

- ・(株)ユニークグループ 100,723円
- ・(有)ベストライン 50,000円
- ・青森県ターゲットバードゴルフ協会 32,000円
- ・青森県自然薬研究会 12,748円
- ・あおりファッション協会 23,600円
- ・ジューキ編物講師会 20,125円
- ・あすなろコーラス 37,628円
- ・(株)国際ホテル 100,000円
- ・石油防災(株)青森防災事業所 11,000円
- ・(社団)青森県柔道整復師会 300,000円
- ・キリンビール(株)青森支社90,000円
- ・東洋建物管理株式会社 54,588円
- ・匿名2名 12,870円

■青森県善意銀行

- ・日興コーディアル証券(株) タオル200本
- ・青森ヤクルト販売(株) 車イス25台
- ・青森県信用組合
未使用切手、未使用ハガキ、未使用テレカ
- ・フコク生命青森支社外野クラブ
タオル300本
- ・東北原子力関係労組懇話会
青森県原子力関係労組懇話会
図書カード90枚
- ・新日本プロレス(株) 八戸大会招待券100枚
- ・そば処小市亭 日本そば100食
- ・匿名 500,000円

編集後記

福祉サービスの経営において、「人材」は最も重要な資源である。事業の継続と繁栄のためには、優秀な人材をどのように確保するかが鍵となるが、優秀な人材が、はじめから存在するはずもなく、そこに人材育成の妙味がある。

山本五十六の言葉に「やって見せて、言ってみせて、やらせて見て、ほめてやらねば、人は動かず」という名言があるが、これには続きがあって「話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず」さらに「やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず」まさに、組織における「ヒト」づくりの真髄と感じ入る言葉である。(K・T)

ホームページでも
「福祉のひろば」がご覧いただけます。

■発行所

〒030-0822 青森市中央三丁目20番30号
県民福祉プラザ2階

社会福祉法人 青森県社会福祉協議会

TEL 017(723)1391 FAX 017(723)1394

URL <http://www.aosyakyo.or.jp>

E-mail fureai-net@aosyakyo.or.jp

■印刷所

株式会社コーセイ印刷